

新聞

慶應四年閏四月十八日出板



近頃新聞紙の世に流行せり、我邦内公私の事情、都鄙の形勢、或は海外諸國の奇事珍談、悉く朝夕坐らふして、之を一掌の上に見聞する。是とハやうめ、這ハ誠ニ時世開化の一端ふして、自づと人乃耳目を新とみ、其智識を博むるのやもハ、士農工商共ニ、今日支務に進退乗除（乗除）益つるを甚と多うとへし、是を新関ハ多く世ふあるを益と國の為と成るべきハ、吾社中